



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 ソースネクスト株式会社

上場取引所 東

コード番号 4344 URL <http://www.sourcenext.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 憲幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役アドミニストレーショングループ 担当常務執行役員 (氏名) 青山 文彦 TEL 03-6430-6406

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,412	10.0	1,001	54.0	982	59.2	1,046	62.4
25年3月期第3四半期	4,013	△4.3	649	174.3	617	174.1	644	222.7

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 1,047百万円 (62.3%) 25年3月期第3四半期 645百万円 (223.2%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
26年3月期第3四半期	32.99		—	
25年3月期第3四半期	20.31		—	

平成24年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。また、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
26年3月期第3四半期	4,178		2,610		62.3	82.26		
25年3月期	3,444		1,558		45.2	49.10		

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 2,605百万円 25年3月期 1,558百万円

平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり純資産につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,590	8.4	1,071	38.7	1,050	44.0	1,139	41.5	35.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、平成26年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。(当該株式分割が期首に行なわれたと仮定して算定)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	31,732,000 株	25年3月期	31,732,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	6 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	31,731,996 株	25年3月期3Q	31,732,000 株

平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記発行済株式数(普通株式)につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定してそれぞれ算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権による経済政策の進捗により緩やかな景気回復の兆しが見られ、また円安、株高による景況感も好転しつつあるものの、平成26年4月からの消費税率改定の決定による個人消費や海外の景気下振れ懸念は解消しておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、当第3四半期連結累計期間におけるパソコンソフトウェア市場の店頭販売本数は、前年同期比91.7%（※1）で推移いたしました。また、JEITAの発表によると、法人向けリプレース需要は好調に推移し、当第3四半期連結累計期間のパソコン出荷台数は、前年同期比100.5%となりました。

こうした状況の中、当社グループは以下の施策に注力して業績拡大を図って参りました。その結果、売上高は44億12百万円（前年同期比10.0%増）となり、営業利益は10億1百万円（前年同期比54.0%増）、経常利益は9億82百万円（前年同期比59.2%増）、四半期純利益は10億46百万円（前年同期比62.4%増）となりました。なお、第3四半期連結累計期間における営業利益、経常利益、四半期純利益としては、第2四半期連結累計期間に続き過去最高益となり、経常利益率も過去最高の22.3%となりました。また、平成25年パソコン用ソフト（※2）バンダー別販売本数シェアにおきましても18.8%を獲得し、平成21年以来4年ぶりに第1位となりました。

※1 全国有力家電量販店の販売実績を集計するジーエフケー マーケティング サービス ジャパン調べ

※2 「セキュリティ」「ビジネス」「システム/環境」「業務」「実用」「グラフィック」「教育」「ユーティリティ」「他パソコン用ソフト」合計

① セキュリティソフト

当第3四半期連結累計期間におきまして、当社のセキュリティソフトの概況は以下の通りです。

ウイルスセキュリティZERO	平成15年より自社ブランドのセキュリティ対策ソフトとして展開しております。「ウイルスセキュリティZERO(Windows8 対応版)」はPCソフト店頭市場の平成25年ALLジャンル(※2)年間累計店頭販売本数第1位を獲得しており、シリーズ全体の累計ユーザー登録数は、877万人となっております。
スーパーセキュリティZERO	平成23年12月に世界最高レベルの技術を持つBitdefender, SRLのセキュリティソフトを発売いたしました。平成25年4月には、3ライセンスを1セットにした「スーパーセキュリティZERO 3台用」も発売いたしました。
クラウドセキュリティZERO	平成25年5月に、第3のセキュリティソフトとして世界155ヶ国、1,000万人以上に利用されているMicroWorld Technologies, Inc.の「eScan Internet Security Suite」を発売いたしました。

それぞれ違った特徴を持つこれらの製品は全て、対応OSの公式サポート期間中は、年間更新料が0円となっております。上記のセキュリティソフト3タイトルは「ZERO」ブランドとしてシリーズ化し、ユーザーの目的や予算に応じて提供できるようになっております。

こうした状況の中、店頭では「ウイルスセキュリティZERO」、「スーパーセキュリティZERO」、「スーパーセキュリティZERO 3台用」の展開を推し進めて参りました。その結果、当第3四半期連結累計期間におけるPC用セキュリティソフトの店頭販売本数は、PC用セキュリティソフト市場全体が前年同期比96.6%に対し、当社は前年同期比99.4%と市場全体を上回る水準となりました。また、店頭販売金額は、PC用セキュリティソフト市場全体の前年同期比96.4%に対し、当社は前年同期比111.2%と大きく前年同期を上回り、シェアも9.4%と前年同期の8.1%から1.3ポイント増加し10%に迫る水準になっております。これにより、店頭販売本数は6四半期連続、店頭販売金額は8四半期連続で前年同期を上回る結果となりました。

② 筆王

当第3四半期連結累計期間におきまして、業界No.1の素材数を誇るはがき作成ソフト「筆王」の展開を推し進めて参りました。「筆王」は、住所録画面を更に使いやすくリニューアルし、販売活動に注力いたしました。その結果、平成24年に続き平成25年も2年連続でモデル別年間店頭販売本数第1位(※3)を獲得いたしました。更に当社WebサイトであるソースネクストeSHOPでは、製品のアップグレード導線の引き続きの改善に加え、平成24年3月期から導入した自動アップグレードサービスによる継続的な売上が伸びたことにより、売上高は前年同期比120.8%と好調に推移いたしました。

※3 平成24年筆王Ver17、平成25年筆王Ver18、パソコン用ソフト/実用から「はがき」を抽出 モデル別数量シェア

③ その他製品

平成24年6月に、有名映像クリエイターが演出した高品質フォトムービー「心に響くWeddingフォトムービー」を発売いたしました。初心者でも簡単にハイクオリティなフォトムービーが作れるソフトは発売当初から人気を集め、店頭およびソースネクストeSHOPで好評を博しました。

また、当第3四半期連結会計期間には「超ブルーライト削減」を発売いたしました。ボタンをクリックするだけの簡単操作で、パソコンやスマートフォンの画面から出るブルーライトを削減できるソフトです。ソースネクストeSHOPや店頭のパソコンソフト売場以外での大規模な拡販を行なった結果、順調に販売本数を増やしました。

④ スマートフォン向けアプリケーション

成長著しいスマートフォン市場において、スマートフォン向けアプリケーションの開発及び販売に注力して参りました。当第3四半期連結累計期間におきましては、KDDI株式会社のスマートフォン向け月額サービス「auスマートパス」の「アプリ取り放題」への提供を開始して以来、アプリケーションのバージョンアップや購入導線の見直しを継続して行なうなどの対応を進めました。12月にはSPI対策学習サービスアプリ「超速SPI」が新規アプリとして追加され、合計10タイトルが「auスマートパス」に提供されることとなりました。また、株式会社NTTドコモのスマートフォン向け月額サービス「スゴ得コンテンツ」におきましては、従来1サイトだったものが更に1サイト追加されて合計2サイトとなり、従来の定番アプリ「超電卓」、「万能カメラ」、「ThinkFree Office」に加え「超ブルーライト削減」を始めとする5タイトルが追加されるなど、好評を博しました。

当第3四半期連結会計期間末におけるスマートフォン向けアプリケーションのタイトル数は、Androidアプリケーション26タイトル、iPhoneアプリケーション5タイトルとなっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるスマートフォン向けアプリケーションの売上は、5億80百万円(前年同期比28.9%増)となりました。

⑤ パソコンソフト使い放題サービス

当社ソフトの「ウイルスセキュリティ」、「筆王」及び「いきなりPDF」など70タイトル以上のコンテンツが毎月の定額料金で使い放題となるサービス「パソコンソフト使い放題」が平成25年5月よりサービスを開始いたしました。東日本電信電話株式会社や株式会社フォーバルテレコムなどを始め、合計5社での展開が開始しております。これらのサービスの提供によって、各キャリア・ISP(インターネットサービスプロバイダ)事業者の契約者に当社ソフトを提供でき、当社製品の拡販に繋がると考えております。今後、タイトル数の増加や製品のバージョンアップを通じてサービス内容を向上させ、会員数の増加を図ると共に、他のキャリア・ISP事業者と連携し当社製品の拡販に努めて参ります。

⑥ 海外製品の発掘及び国内での販売状況

当社は、開発者とエンドユーザーをつなぐことをミッションとして、米国のシリコンバレーに子会社を設立して以来、海外の優れた製品の発掘、及び日本国内での販売活動を積極的に行なって参りました。当第3四半期連結累計期間は、全世界で累計1億5000万以上のダウンロード実績を持つ、無料Wi-Fiスポットでの通信データ盗聴を防ぐセキュリティソフト「Wi-Fiセキュリティ」や、スマートフォン・タブレットからPC(Windows・Mac)を遠隔操作するリモートデスクトップサービス「Splashtop」を店頭及びソースネクストeSHOPで発売いたしました。その他、米国で有名なクラウド動画作成サービスを運営しているAnimoto社の動画作成エンジンを利用した先進のクラウドサービス「超フォトムービー」を発売いたしました。今後も、海外優良製品の発掘及び国内での販売をより一層強化して参ります。

⑦ ソースネクストeSHOP

前連結会計年度に引き続き、ソースネクストeSHOPの「マイページ」の充実を推し進めて参りました。「マイページ」とは、当社製品を購入した顧客が当社Webサイトにてユーザー登録することにより利用できる各顧客専用のページです。当第3四半期連結累計期間におきましては、主力製品である「筆王」に加え、「超ブルーライト削減」などの新作も売れ行きが好調に推移いたしました。その他、市販の用紙や申請書類にパソコンで文字入力や印刷ができる「さよなら手書き」など、ソースネクストeSHOP限定の新製品の拡販にも努め、売れ行きは好調に推移いたしました。

⑧ その他

当第3四半期連結累計期間において、当社のシステムの維持管理コストの削減と安定稼働を目的として、サーバーのクラウド化を推し進めて参りました。その結果、サーバー移行作業等による業務委託費が前年同期と比べ増加いたしました。これにより、稼働状況に応じたサーバーの増強等を適時に行なうことができ、今後のサーバー維持管理コストの削減が可能となります。その他、業容拡大に伴う社員の増加による人件費や広告宣伝費の増加などにより、販売費及び一般管理費は、前第3四半期連結累計期間と比較して2億23百万円増加し、22億69百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ、7億33百万円増加し、41億78百万円となりました。流動資産は、8億3百万円増加し32億17百万円、固定資産は、69百万円減少し9億61百万円となりました。流動資産の増加の主な要因は、売掛金の増加5億10百万円、繰延税金資産の増加1億35百万円によるものであります。

固定資産の減少の主な要因は、子会社出資金(非連結)の減少61百万円によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ3億18百万円減少し、15億68百万円となりました。流動負債は、54百万円減少し13億12百万円、固定負債は、2億64百万円減少し2億55百万円となりました。流動負債の減少の主な要因は、アフターサービス引当金の減少49百万円、短期借入金の減少35百万円によるものであります。固定負債の減少の主な要因は、長期借入金の減少2億64百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ10億52百万円増加し、26億10百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、四半期純利益10億46百万円によるものであります。なお、純資産の増加により自己資本比率は62.3%となり、前連結会計年度末45.2%と比べ17.1ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成26年1月23日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,256,836	1,081,004
受取手形及び売掛金	657,064	1,167,609
有価証券	—	300,000
商品及び製品	63,788	68,976
原材料及び貯蔵品	12,310	16,124
前渡金	82,943	116,540
繰延税金資産	274,911	410,012
その他	66,108	57,024
流動資産合計	2,413,964	3,217,293
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	199,216	204,748
減価償却累計額	△165,194	△177,290
有形固定資産合計	34,021	27,458
無形固定資産		
ソフトウェア	665,473	664,442
その他	106,642	155,551
無形固定資産合計	772,115	819,993
投資その他の資産		
繰延税金資産	47,150	50,826
その他	177,398	71,552
貸倒引当金	—	△8,556
投資その他の資産合計	224,549	113,821
固定資産合計	1,030,687	961,273
資産合計	3,444,651	4,178,566
負債の部		
流動負債		
買掛金	207,085	207,703
短期借入金	137,244	102,000
1年内返済予定の長期借入金	352,128	352,128
未払金	341,876	362,720
未払法人税等	58,217	56,336
賞与引当金	8,312	9,783
返品調整引当金	62,024	51,299
アフターサービス引当金	75,456	25,705
その他	124,221	144,794
流動負債合計	1,366,567	1,312,471
固定負債		
長期借入金	519,808	255,712
その他	193	—
固定負債合計	520,001	255,712
負債合計	1,886,568	1,568,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,771,226	1,771,226
資本剰余金	1,611,226	1,611,226
利益剰余金	△1,825,282	△778,472
自己株式	—	△1
株主資本合計	1,557,170	2,603,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△376	△1,276
為替換算調整勘定	1,288	2,514
その他の包括利益累計額合計	912	1,237
新株予約権	—	5,166
純資産合計	1,558,082	2,610,382
負債純資産合計	3,444,651	4,178,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,013,142	4,412,917
売上原価	1,287,261	1,153,329
売上総利益	2,725,881	3,259,588
返品調整引当金繰入額	108,974	51,299
返品調整引当金戻入額	79,141	62,024
差引売上総利益	2,696,048	3,270,312
販売費及び一般管理費	2,046,087	2,269,192
営業利益	649,960	1,001,120
営業外収益		
受取利息	198	708
受取配当金	—	160
債務勘定整理益	5,488	1,361
在外子会社清算損失引当金戻入額	3,133	—
その他	98	21
営業外収益合計	8,918	2,251
営業外費用		
支払利息	21,833	13,095
為替差損	3,886	6,842
支払手数料	15,000	—
その他	710	750
営業外費用合計	41,430	20,688
経常利益	617,448	982,684
特別利益		
関係会社清算益	—	2,458
特別利益合計	—	2,458
特別損失		
前渡金評価損	13,562	2,327
特別損失合計	13,562	2,327
税金等調整前四半期純利益	603,885	982,815
法人税、住民税及び事業税	48,494	74,782
法人税等調整額	△89,035	△138,777
法人税等合計	△40,540	△63,994
少数株主損益調整前四半期純利益	644,426	1,046,809
四半期純利益	644,426	1,046,809

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	644,426	1,046,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△900
為替換算調整勘定	916	1,225
その他の包括利益合計	916	325
四半期包括利益	645,343	1,047,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	645,343	1,047,135
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。